

～学校・保護者・地域をつなぐ学校だより～

# 椿キッズ

We are Tsubaki-kids.

第21号

鈴鹿市立椿小学校

Tel. 059-371-1014

## 全校児童全員が見事完走！

令和2年12月18日

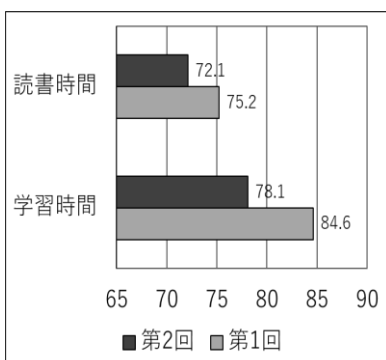


12月7日にマラソン記録会を実施しました。今回「大会」ではなく「記録会」としたのは、応援するときの密を避けるために、1～3年生と、4～6年生を分けて実施したためです。学校北側の茶畑を走るコースや走る距離は昨年度までと変わりません。

マラソンは、得意な人もいれば苦手な人もいます。特に高学年になれば、その差は大きくなっていきます。しかし、何よりもうれしかったことは、全員が参加して、全員が走り切ったことです。しかも、試走のときよりタイムを上げた子が多かったことです。子どもたちの持久力が向上したことも良かったのですが、もう一つ。少し大げさですが「マラソンは人生」のように感じます。速い人は速い人なりに苦しいし、苦手な人は苦手な人の苦しみがある。一人ひとりが苦しさを乗り越えた先に、必ずゴールがあるということを言葉ではなく、体で感じることができたことも、子どもたちの財産になったように思います。

このようなことができたのも、安全対策のため、試走のときからたくさんのボランティアさんや駐在さんにご協力いただいたこと。そして、当日、たくさんの保護者の方の声援をいただいたおかげです。ありがとうございました。

### 第2回鈴峰中学校区「家庭学習強化週間(11/17～11/23)の取組」の結果



読書時間、そして、家庭学習の時間ともに、残念ながら、第1回(7月実施)より、自分で決めた目標の達成率が下がっています。ただ第2回目の達成率が例年に比べて特に低いというわけではなく、第1回目の達成率が例年に比べ、とても高かったため、第2回が下がってしまったのかもしれませんが、ひょっとして4、5月の休校の後、6、7月は、子どもたちも頑張ろうという気持ちが強かったのかもしれません。

この数字に一喜一憂する必要はないと思うのですが、自分で決めた目標に向けて頑張ろうという気持ちはもってほしいと思います。



時間内に何粒、豆をつまめるか？

## 「楽しかったチャレンジ集会！」 12月9日 全学年

この日は、児童会の企画で、チャレンジ集会が開かれました。1分間という限られた時間で、「紙飛行機を何回、的に当てられるか。」「豆を何粒つまめるか。」「新聞紙をどれだけ細長くちぎれるか。」など、7つのコーナーがありました。縦割り班に分かれ、各コーナーを回り挑戦。ふだん勉強やスポーツが得意な子が、いい結果になるとは限ら

ないところが、この企画のおもしろいところです。

## 「人権フォーラム」開催！

### 12月10日 6年生代表者

この日は、鈴峰中学校区の4つの小学校の6年生（各4名）と中学校1、2年生（8名）の代表者が鈴峰中学校に集まって、人権フォーラムが開かれました。この日は、以下の場面が設定され、それを4つのグループに分かれて考えました。



4月、中学生になったAさんは、ちがう小学校だったBさんと仲よくなりました。ある日、Aさんは、Bさんに次のように言われました。

「Cさんってさあ、何かちょっと変わってるよね。小学校の時から、あんな感じだったの？」

AさんとCさんは、同じ小学校出身でした。

Aさんは、それを聞いて……………

実際に、中学校に入学したらありそうな場面です。代表者は、自分の意見を述べるだけでなく、あらかじめクラスの一人ひとりから聞いてメモしておいた考えも出し、話し合いに臨みました。

「Bさんに、Cさんって変わっているというより、いいところもたくさんある子だよ。と言う。」

とCさんをフォローするという意見、

「仲良くなったBさんとの関係をくずしたくないから、Bさんの意見に合わしてしまう。」などといった意見など、様々な意見が出されました。進行役は、中学生が務めました。さすが中学生、年齢は6年生とほんの数年しか変わらないのに、小学生から出された意見を、うまく整理して、話し合いをリードしていました。

代表の子どもたちは、「いろいろな小学校の子たちの様々な意見を聞くことができて良かった。」とか、「この話し合いで人権の大切さをあらためて感じた。」などと感じたようです。

今後は、6年生で、どんなことが話し合われたのかを還流したり、年が明けてからは、この人権フォーラムで得たことを、本校高学年まで広げて考えていったりする予定です。